

大東市

2050年を目途に、
温室効果ガス排出量実質ゼロをめざします。

ゼロカーボン シティをめざして



2050年までに
めざす
まちのイメージ

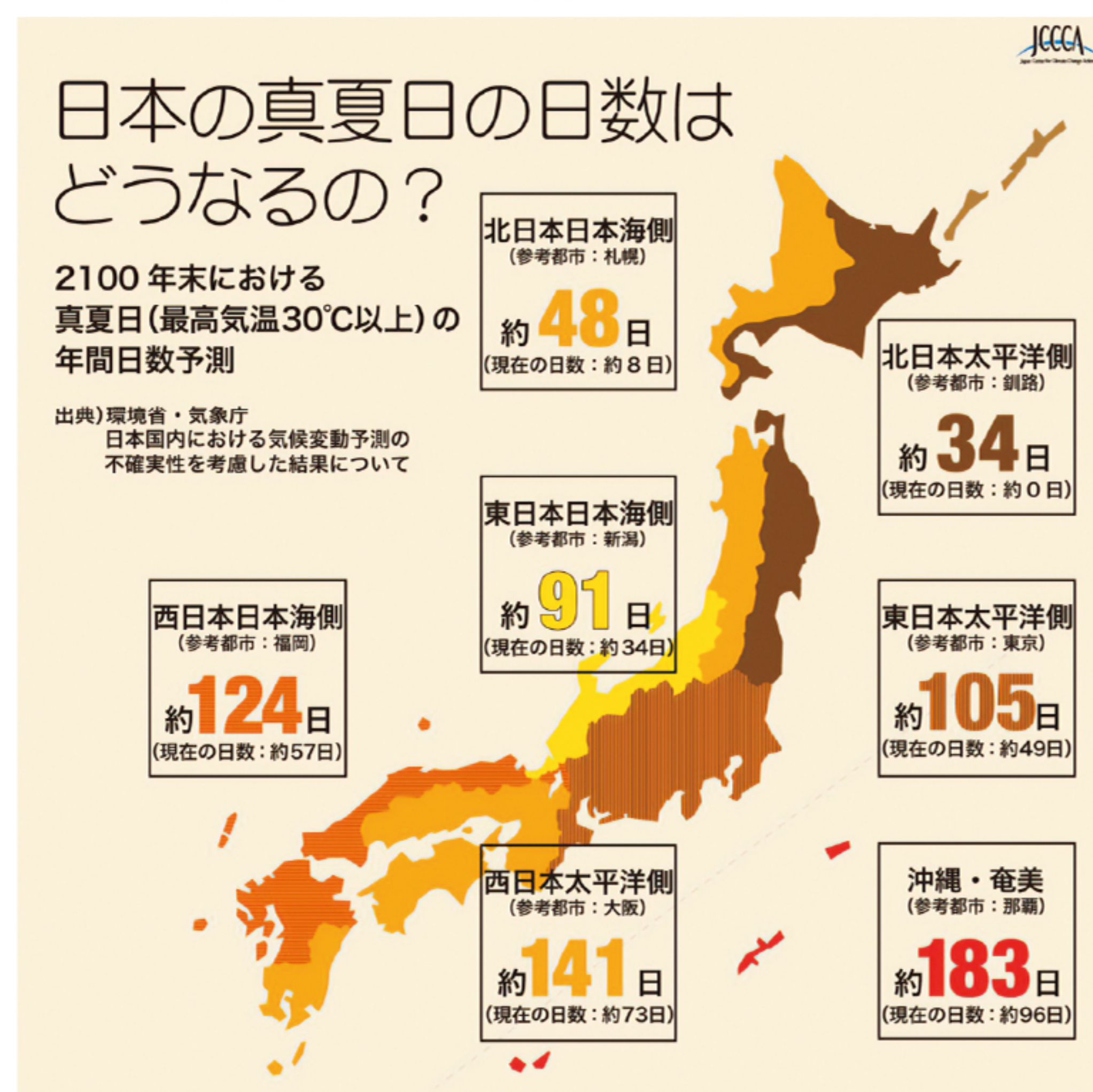
- 住宅や学校などの建物の屋根には**太陽光パネル**が設置されています
- みんなが**無理のない省エネ**に取り組んでいます
- **電気自動車**が普及して買い物や旅行に出かけています
- 市内の**木質バイオマス発電**の電気を利用しています
- 率先して**ごみの分別**が守られています
- 市内の農産物を市内で消費する**地産地消**の取組が進んでいます



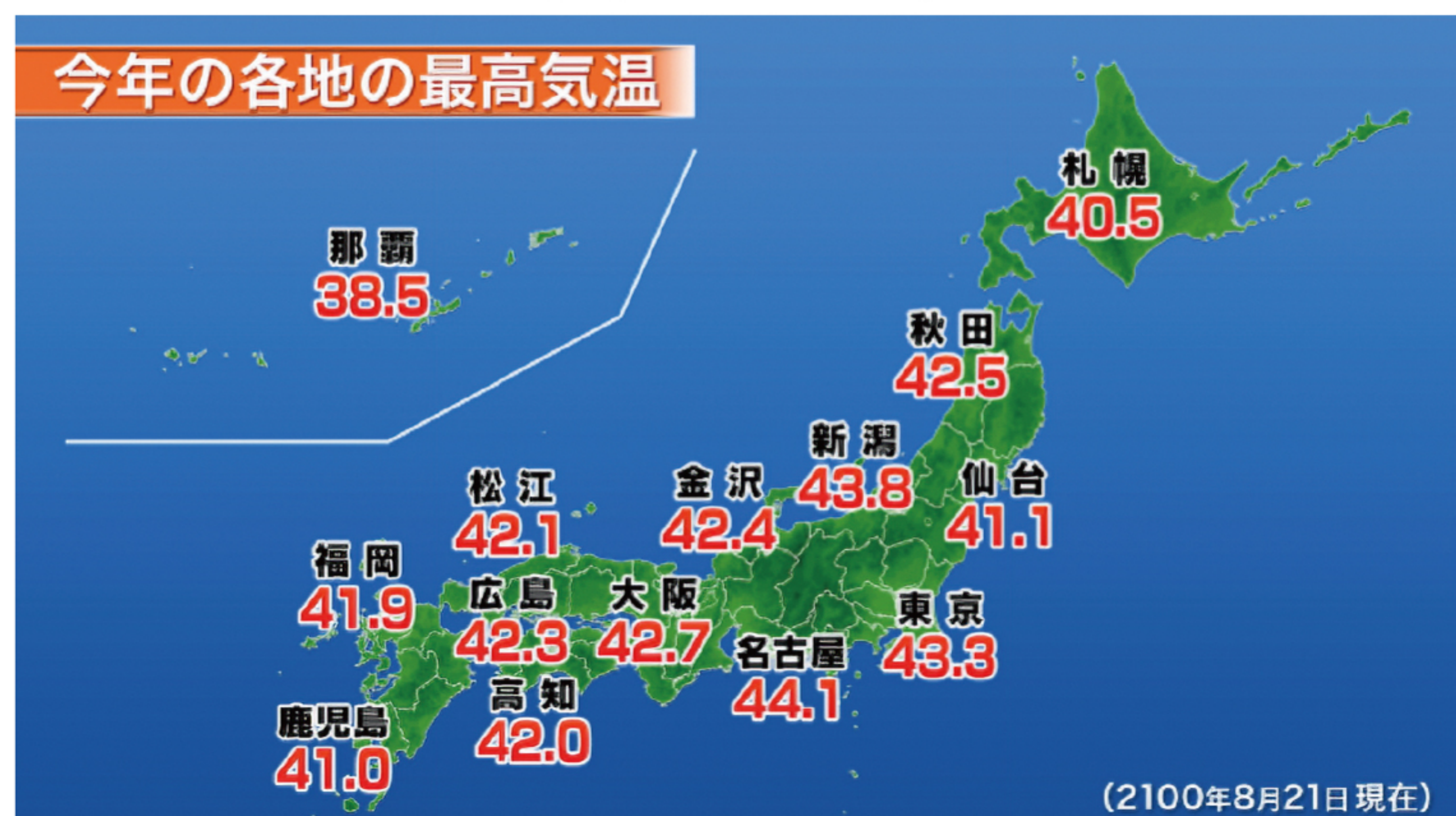
温暖化が 最も進んだ 場合...

環境省は、温暖化が最も進めば、今世紀末の真夏日は現在と比べて全国では平均52.8日増加する可能性があり、2100年夏の最高気温が日本中で40℃を超える可能性があります。

2100年末における
真夏日の年間日数予測



2100年
未来の天気予報

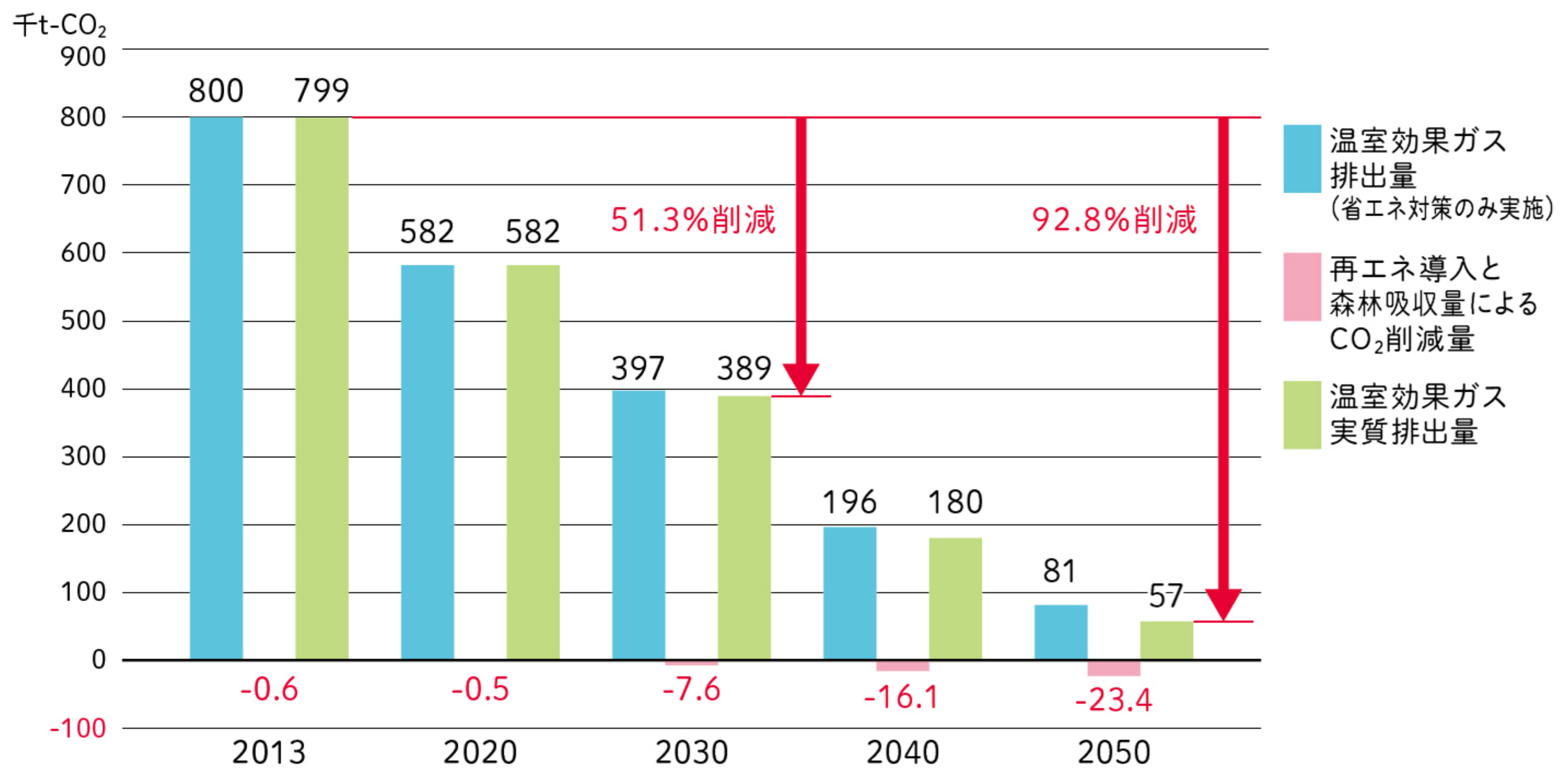


出典: (左図) 全国地球温暖化防止活動推進センター WEB サイト
(右図) 環境省ホームページ

大東市は「地球温暖化対策実行計画」を策定しました！

本市の温室効果ガス削減目標（2030年度） 2013年度比 51%削減

各施策を展開し、市民・事業者・行政が一体となり省エネルギーの推進や再生可能エネルギー導入を加速することにより、市域から排出される温室効果ガスの排出量は、2030年度には基準年度（2013年度）の51%削減、2050年度には同比93%の削減が推計されます。



さらに、2050年カーボンニュートラル（基準年度比100%の削減）を実現するためには、森林や緑化など吸収源対策の推進による相殺、また、水素など新たなエネルギーの活用や都市ガスの脱炭素化を推進していく必要があります。

目標に向かって 取り組みましょう！

目標1

エコで未来につなぐ

- 環境にやさしいライフスタイル・ビジネススタイルの推進
- 省エネルギーの推進
- 再生可能エネルギーの導入促進
- 持続可能な交通環境の実現
- 3Rの促進

目標2

人と自然との“わ”となる

- 里山等の整備・活用、森林資源の活用
- まちなかの緑化、地域緑化運動の推進、事業者との連携
- 多様な技術革新によるCO₂吸収・固定

目標3

“地域力”が支える

- 環境学習・環境教育
- 人・つながりづくり
- 協働推進
- 情報共有



まずは、みんなでデコ活しませんか！？

「デコ活」って なあに？

デコ活は「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称です。

二酸化炭素(CO₂)を減らす

Decarbonization
脱炭素

+

環境に良い

Eco
エコ

脱炭素に向けて、身近な「生活」の中で環境に良い「活動」を実践するライフスタイルを意味します。

地球にやさしい
「デコ活」は
家計の節約にも
なるよ！



取組内容	CO ₂ 削減効果 (kg-CO ₂)	節約額 (年間)
■ ZEH住宅の購入	2,551	152,000円
■ 太陽光発電設備の設置	920	53,000円
■ 省エネ性能の高い住宅への引っ越し	1,131	94,000円
■ 高効率給湯器の導入	70~526	6,000～35,000円
■ 断熱リフォーム（窓・サッシなど）	1,131	94,000円
■ 節水（節水シャワー・節水型トイレなど）	105	16,000円
■ LED等高効率照明の導入	27(2台交換)	3,000円
■ クールビズ・ウォームビズ	41	4,000円
■ 冷蔵庫の買い替え	108	11,000円
■ エアコンの買い替え	70	7,000円
■ HEMSやIoT家電の活用	88	9,000円
■ 電力排出係数の改善（環境により電気を選ぶ）	777	—
■ 次世代自動車（EV、PHEV、HVなど）を選択	610	75,000円
■ 自動車を保有する代わりにカーシェアを利用	491	149,000円
■ テレワークにより、通勤に伴う移動を削減する	840	61,000円
■ エコドライブの実施	117	9,000円
■ 近距離通勤（5km未満）は自転車・徒歩通勤	162	12,000円
■ 5km以上の通勤も月1日は公共交通機関に	35	—
■ マイボトル、マイバッグの利用、分別などにより容器包装プラスチック等のごみを削減する	29	4,000円